



社会医療法人 清和会 西川病院

オンライン研修会、講演会、会議のストレスを劇的に改善 情報発信・共有の効率化に加え、 遠隔診療の基盤にも活用

OCN IPoE サービス ワイドプラン



社会医療法人 清和会 西川病院
事務部 総務課 課長
永田 孝氏

「正直、なぜもっと早くIPoE方式に切り替えなかったんだろうと後悔しています(笑)。
まだPPPoE方式のサービスをお使いなら、ストレスのないIPoE方式のサービスにすべきです」

課題

- オンラインの研修会、講演会、会議が急増し、インターネットの帯域がひっ迫
- とくに夕方の時間帯に映像が乱れる、音声が途切れる事象が多発

対策

- もっとも改善効果が見込めた IPoE 方式の「OCN IPoE サービス ワイドプラン」を採用
- スピード感のある対応、豊富な知見に基づく的確なアドバイ스로スムーズに導入が完了

効果

- オンラインの研修会、講演会、会議の不具合ゼロ、ストレスのない運用を実現
- ゆとりあるインターネット接続環境を活用した遠隔診療の取り組みも推進

課題

コロナ禍で研修会、講演会、会議がオンラインにシフト
映像が乱れる、音声途切れる通信品質の改善へ

「自由・解放・科学」の理念、「All for Mental health」をスローガンに掲げる社会医療法人 清和会 西川病院は、1933 年の開設（1956 年に法人組織に改組）より幅広い取り組みで島根県浜田市での精神医療を担ってきた。同院では西日本で最高レベルの精神医療を目指しており、2021 年には独自の「S・IPS」(Seiwakai Individual Placement and Support：個別職業紹介とサポート)で日本精神神経学会より精神医療奨励賞を受賞している。「S・IPS」とは、医療業界が注目する精神疾患を抱えながら一般就労を目指す患者の仕事探しを始めるところから、仕事について後も継続して個別支援を行い伴走型でサポートするプログラムだ。

同院では古くから医師や看護師の業務負担を軽減するために、積極的に IT の導入を進めてきた。現在は電子カルテ、ファイル共有などの基幹業務用に IP-VPN、クラウド上の会計業務、メールなどの一般業務用にインターネットを活用している。「インターネット接続回線は導入して 10 年以上経っていましたが、とくに不便は感じていませんでした。しかし、コロナ禍で研修会、講演会、会議などが一挙にオンラインにシフトしたことで Web 会議ツールの利用頻度が跳ね上がり、映像が乱れる、音声途切れるといった不具合が多発するようになった

のです。一番の問題は私たちがホストや講師として情報を発信する立場のときに、説明が不明瞭になり進行に支障が出ることでした。特に夕方以降は顕著に通信の遅延が起きていたのです」と、事務部 総務課 課長の永田孝氏は当時の悩みを口にする。

その頃、永田氏は医療機関で増えていたランサムウェア被害に備えて、ファイアウォールの刷新、ファームウェアのアップデートを進めていた。「たまたま、別件で作業をお願いしていた NTT コミュニケーションズさん（以下、NTT Com）に相談したところ、“それなら、いいサービスがありますよ”という話になったのです」（永田氏）

こうして、同院では通信品質の改善に向けた新たなインターネット接続サービスの選定をスタートする。

対策

ファイアウォールの刷新と合わせて IPoE 方式を採用 スピード感のある対応でとんとん拍子に移行が完了

インターネット接続環境の刷新にあたり、永田氏は複数のサービスを比較検討した。しかし、従来のインターネット接続サービスと同じ PPPoE 方式では、いくら契約帯域を大きくしても望む効果は見込めなかったという。「唯一、IPoE 方式を採用したサービス提案を受けたのが NTT Com でした。正直、IPoE 方式は存じ上げなかったのですが、導入事例を交えたわかりやすい提案を受け、ほぼ一択でした。やや料金は高くなるという話でしたが、こちらの抱える課題が解決できれば問題ないと判断しました」（永田氏）

西川病院が導入を決めたサービスは「OCN IPoE サービス ワイドプラン」。IPoE 方式の最大の特長は、PPPoE 方式に比べて接続設備の大容量化など、ゆとりある設計になっていることだ。さらに動画サー

ビスなど混雑の原因となりやすいコンシューマー向け通信のトラフィックを論理的に分離、夕方から夜間にかけての混雑する時間帯でも安定した通信が利用できる。しかも同プランは、PPPoE 方式の接続より 6 倍の大容量化を実現することに加え、一時的に急増する Windows Update の通信を識別、別の経路に振り分けることで、さらに安定した通信を実現できる特長を持っている。

「刷新を進めていたファイアウォールも IPoE 方式に接続できるタイプに切り替え、ややファイアウォールの更新に時間がかかったもののスムーズに刷新できたと思います。サービスの導入にあたり、ぜんぜん苦労した記憶はありません。NTT Com 担当者のスピード感のある対応、豊富な知見に基づく的確なアドバイスのおかげですね」（永田氏）

効果

オンラインの研修会、講演会、会議の不具合がゼロに 安定した IPoE 環境を活かした遠隔診療にも意欲

IPoE 方式に切り替えたことで西川病院のインターネット接続環境は劇的に改善された。サービス導入から約半年が経過した現在も高いレベルで安定していると永田氏は太鼓判を押す。「切り替えてから遅延はまったく起きていません。以前は夕方以降に遅くなるのはベストエフォートだから仕方ないと諦めていたのですが、いまはフルタイムで通信が安定しています。まさに絶大な効果、従来の PPPoE 方式と比べると雲泥の差です。インターネットの速度テストではダウンロードが 23%、アップロードは 476% も改善しており、いつのまにか Windows のアップデートもバックグラウンドで終わっている印象です」

もちろん、懸案だったオンラインの研修会、講演会、会議もスムーズに回るようになった。これまで映像が乱れる、音声途切れる不具合は皆無だという。「つねに円滑、リアルタイムにコミュニケーションができ、まったくストレスを感じる事がなくなりましたね。ここまで快適に使えるならばということで、新しい業務を企画するきっかけに

もなっています。現在、取り組みを進めているのは遠隔診療です。患者さんをリモートで診療できるようになれば、さらなるサービス品質の向上につながると考えています」（永田氏）

今後、西川病院では院内 Wi-Fi の導入によるスマートフォン、タブレットを活用した勤怠管理、基幹業務のクラウドシフトなど、医療現場の業務の業務効率化に向けた積極的な IT の活用に取り組んでいく計画だ。「たとえば、院内 Wi-Fi を活用することで患者さん、ご家族、医師、看護師が別の場所においても、Web 会議ツールをつなぐことで退院などのカンファレンスができるようになります。大元は IPoE 方式なので通信の品質に不安はありません。これからも引き続きパートナーとして NTT Com には、ぜひとも新しい価値ある情報を教えていただきたいと考えています。今回、たまたま別件で相談していたときに改善のアイデア、アドバイスをいただきましたが、今後も有益な提案、サポートに期待しています」（永田氏）



社会医療法人 清和会 西川病院
1933年(昭和8年)の設立以来、島根県浜田市の開かれた精神科病院として急性期医療から慢性期、在宅医療や福祉事業など幅広い領域で、地域に根差したベストの医療に取り組んでいる

<https://seiwakai-shimane.com/nishikawa/>